

社会資本整備総合交付金

経済成長を支える物流ネットワークの強化(交通拠点連携集中支援)

事後評価資料

令和4年12月

仙台市



経済成長を支える物流ネットワークの強化（交通拠点連携集中支援）

貨物ターミナル駅と仙台港・ICなど主要拠点間の物流ネットワークの強化を図る。

一般県道 いまいちふくだせん
今市福田線

整備前



整備中



「仙台貨物ターミナル駅」が宮城野区岩切地区に移転することから、廃止される既存市道の代替機能の確保及び幹線道路網の構築を目的に、（一）今市福田線の未整備区間の拡幅等を実施するものである。

※H31以降は「地域連携道路事業費補助」にて引き続き実施する。

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	経済成長を支える物流ネットワークの強化（交通拠点連携集中支援）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	仙台市												
計画の目標	貨物ターミナル駅と仙台港ICなど主要拠点間の物流ネットワークの強化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	82	A	82	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H34末
1	今市福田線を4車線に拡幅することにより、物流ネットワーク強化を図る。 今市福田線を4車線に拡幅することにより、混雑度を1.15以下とする。	2混雑度	混雑度	1混雑度

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初現況値は貨物ターミナル駅移転により廃止となる市道の交通量が今市福田線に転換されるものとして算出する。														

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府 県道	改築	(一)今市福田線(高江 工区)	L=1.1km	仙台市	■	■	■	■	■	82	1.79	—
		国債設定(予定)期間:H31-H34																	
											小計						82		
											合計						82		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

本市独自に実施

事後評価の実施時期

令和4年度

公表の方法

仙台市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

平成31年度から地域連携道路事業費補助へ移行となったため、当該整備計画において整備効果の発現までは至らなかったが、補助により継続して事業を推進し、早期効果発現を図る。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・平成31年度からは、地域連携道路事業費補助により継続して事業を推進し、物流ネットワーク強化を図る。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	1混雑度
	最終実績値	2混雑度
今市福田線を4号線に拡幅することにより、混雑度を1.15以下とする		
関係機関との協議に時間を要したことから、当該整備計画期間内において事業を完了させることができなかった。		